

育3種郵便物認可

# ホンダDNAは世界挑戦

## 後輩に エール 「人のまねせず、志は高く」

山口大文理学部出身の本田技研工業代表取締役会長の近藤広一さんの講演会は18日、同大工学部で開かれた。1948年の創業以来、世界を視野に事業展開してきた同社の経営理念を熱く語った。同大イノベーション実践教育センター（上西研センター）長 主催。

### 山口大出身の近藤会長講演

「ホンダのグローバルはじめ、欧州、アジア、ル経営」と題した講演 南米などで現地生産を以て近藤さんは、創業が 実現したと述べた。現 在、海外生産の割合は



学生や教職員を前に話す近藤会長（山大王学部で）

四輪が75%、二輪が99%。世界戦略成功の秘訣（ひけつ）を「過剰投資をせず、現地の需要に見合った分だけの小規模生産から始め、大きく育てる」とした。

現場での発想や改善を大切にし、自分のために一生懸命働くことが、結果的に会社の利益につながるという創業者、本田宗一郎の「現場と個の尊重」の考え方が社風として根付いていようと強調

調した。

徹底したコスト削減を図る一方で、年間100億円かけて二輪の「マン島TTレース」や四輪の最高峰のF1に参戦。輝かしい成績を収め、社員の士気を高めた。

夢を追う研究開発が、低燃費エンジンCVC、日本初のエアバッグやカーナビ、二足歩行ロボット「ASIMO（アシモ）」などを生み出したとし「世界一、世界初に向けて挑戦し続ける姿勢が、ホンダのDNA。人のまねをせず、志を高く持つて」と話した。

会場を埋めた学生は、偉大な先輩の話に熱心に耳を傾けていた。（佐野）